

のものは石井勇義氏の園芸大辞典にも出ているが、果して現存しているのかどうか知りたいものである。原栽培地は阿波麻植郡木屋平(コヤダイラ)村字川井(当時)で明治 43 年 5 月 10 日笠井文夫氏がとって先生に送付されたものである。



Fig. 3. Flowers of *I. nertschinskia* f. *albostellata*.

*Iris nertschinskia* Loddiges f. **albostellata** Tuyama, nov. f.

Planta sterilis. Flores albi. Tepala interiora cum exterioribus conformia, margine in apice valdius involuta. Perianthium saepe plus minusve irregulare.

Nom. Jap. Shirobana-kuruma-ayame (nov.).

Type: Honshu, Prov. Owari, Minami-Shidaragun, Oonomachi, in hortulo privato colitur (leg. M. Togashi, exiccotur in Jul. 1963) in TI. (お茶の水女子大学)

□ F. Takai, T. Matsumoto & R. Toriyama: **Geology of Japan** pp. 279 東京大学出版会 (1963). ¥ 2,500. 東大理学部地質学教室の小林貞一教授の還暦を祝って門下が分担して編んだ日本の地質の鳥瞰図ともいふべきもの。我々日本のフロラを扱うものにとってその基盤となる地質の大綱を知るには大変よい本である。Silurian 及び Devonian からはじめて第 4 紀まで地質時代毎に著者が違うがよく調整されているし、印刷もよい。地層名のむずかしいよみに対する漢字の表も巻末にある。主文献、日本の化石動植物の新群表もある。高等植物の化石学者がタッチしていないためか、宮城県登米に日本で唯一の *Cordaites* を産することにふれておられないなど総じて植物化石には少々弱いのが残念で、慾をいえば別に植物の一章を設けてほしかった。(前川文夫)